

第2回 地区献血 報告

社会奉仕委員会 委員長

中山 正隆

(大阪リバーサイドRC)

ローターアクト委員会 委員長

丸尾 照二

(大阪御堂筋本町RC)

2月14日(日)今年度第2回目の地区献血が実施されました。さて、先日の地区献血にご参加頂きまして誠にありがとうございました。合同地区献血として実施したのは今回で4回目です。毎回徐々に盛り上がってきております。

今回は、前回の難波、京橋、大日、樟葉の4会場に加え新たに千里中央でも実施いたしました。特に難波会場には朝から大勢のインターアクト、交換留学

生、ROTEXの若い皆さんが参加して頂くなど、いつも以上に盛り上がりました。

年間500名以上の献血を目指し、前回より1箇所多い5箇所での献血を実施したこともあり、目標を大きく上回る結果となりました。

輸血用血液は、血液の使用期間が限られているため、常時献血が求められており、人命を救うという目的は、ロータリーの奉仕活動として意義あるものであり、継続的な活動が求められるところです。とはいえ、今回も会場を増やしたこともあって、実施に当たっては、多くの方のご協力をいただきました。

大阪府赤十字血液センターはもとより、RACの皆様、ロータリークラブの皆様、特に今回担当をいただいた大阪天満橋RACの皆様には感謝と御礼を申し上げます。

地区ローターアクト 代表

白川 史人

(枚方RAC)

副幹事(広報担当)

山内 美佐子

(大阪RAC)

日時：2016年2月14日(日) 10時～16時

場所：難波バス停横、イオン大日、京橋駅、樟葉駅、千里中央阪急千里前

ホストクラブ：大阪天満橋ローターアクトクラブ

参加者：総勢201名(ロータリアン34名、ローターアクトOBOG4名、ローターアクター 116名、インターアクター 32名、ROTEX12名、ゲスト3名)

2月14日(日)に「第二回地区献血」を実施しました。大阪府下では、1日に約820人以上の輸血用血液を使用し必要としているにもかかわらず、十分な量を確保できていないということで、大阪府赤十字血液センターと協力し、毎年度夏・冬の2回本活動を実施しています。

本年度の献血協力者の目標を昨年度に引き続き500名としましたが、夏に実施した第一回地区献血での献血協力者は、目標の半数を切っていました。

例年、冬には献血協力者があまり多く望めないということもあり、今回は過去最大の5箇所での献血を試みました。結果、総勢313名もの方々にご協力い

ただき、夏と合わせて558名と、目標を上回ることができました。(難波バス停横73名、イオン大日57名、京橋駅68名、樟葉駅58名、千里中央阪急千里前57名)

献血が一人ひとりにとって継続的なものになり、一人でも多くの命を救えるものになるよう願いを込めて、献血をPRするポケットティッシュや一昨年度にRC地区社会奉仕委員会が作成したトートバッグ・絆創膏を配布しました。また、RACの概要を記したカイロも配布し、前回に引き続きリアルタイムで本活動の写真をFacebookに掲載するなど、RACのPR活動も併せて行いました。

当日がバレンタインデーだったこともあり、献血協力者にはRCやRACのシンボルマークを掲載したチョコレートをプレゼントしました。

今回もローターアクターのみならず、多くのロータリアンやインターアクター、ROTEX、青少年交換留学生の皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。ロータリーファミリーの皆様のご協力のおかげで、本活動の目標を達成することができ、また皆様との絆を強くすることができたと実感しております。特に、ロータリアンやインターアクターの方々が積極的にマイクを握り、献血協力の呼びかけを行ってくださったことがとても印象的でした。

今後とも、ロータリーファミリー一丸となって様々な活動を実施できましたら幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

